

これまでの議論

今後の審議

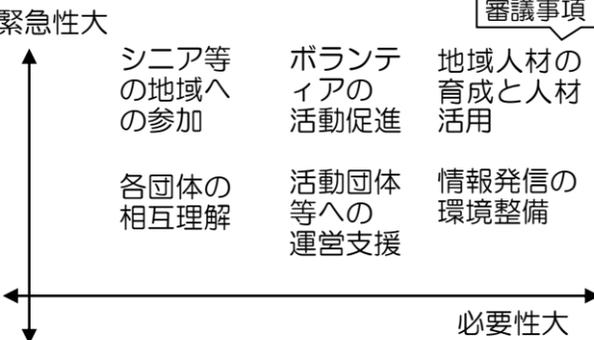
1. 背景

- 市民活動・地域活動を活性化するためには、活性化支援と合せて、実際に活動する担い手づくりが必要である。
- 地域におけるコミュニティづくりと合せて障害者や高齢者等が住みやすいまちづくりが必要である。

2. 方向性・課題の抽出

- 方向性
- 市民活動の担い手づくり・活性化
 - 地域活動の活性化
 - 高齢者・障がい者が外へでる機会
- 課題の抽出
- 各意見を6つの項目・課題に分け、緊急性と必要性を基準に検討。

第2期
区民会議
審議事項

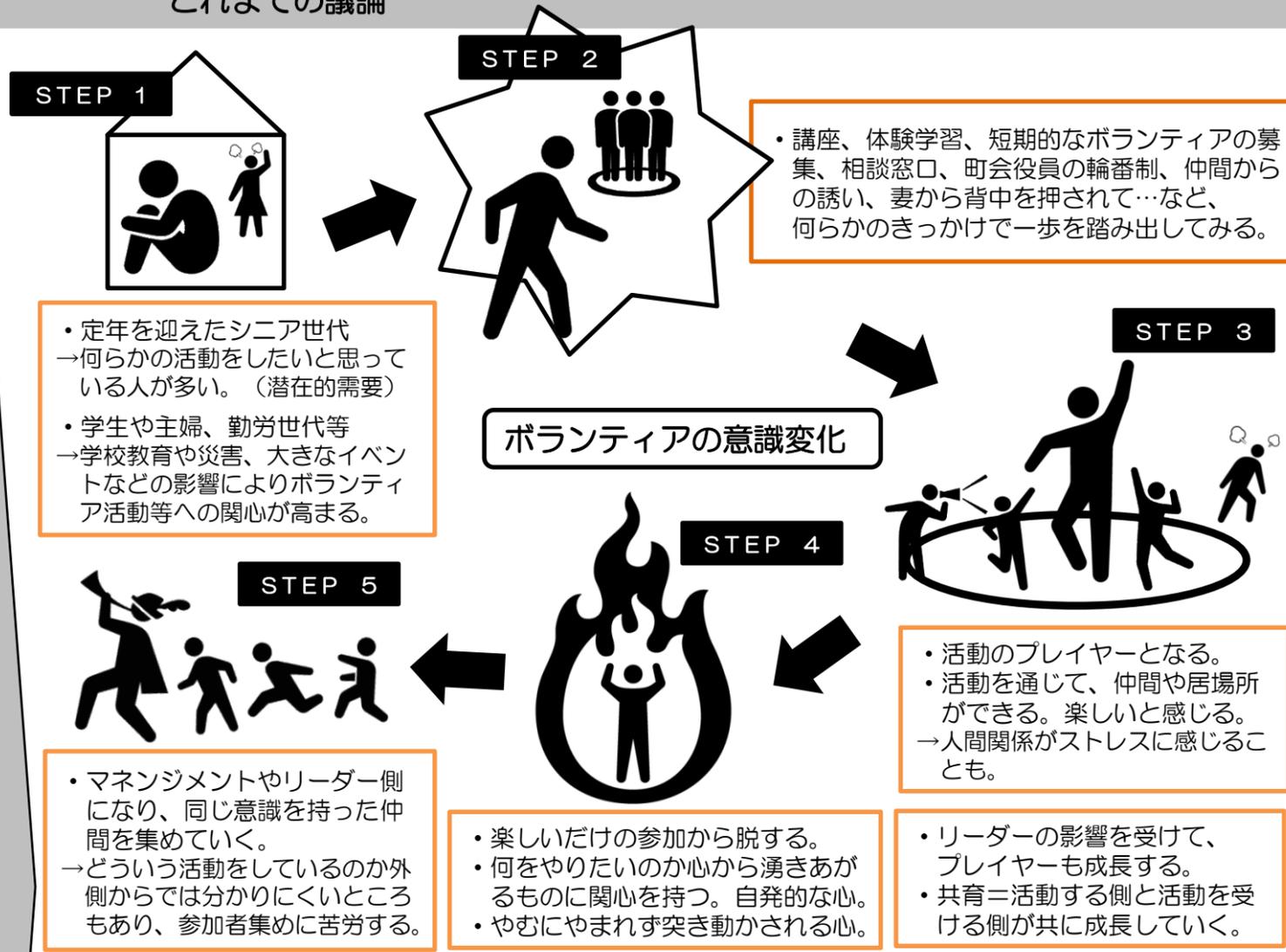


3. 審議テーマ

- 優先テーマ
- ボランティアの活動促進**

- 優先テーマ
- 情報発信の環境整備
 - シニア等の地域への参加
- 全体へ係る課題
- 市民活動等への運営支援

やまゆりで開催された「ボランティア講座」への参加及びボランティア事例の確認



具体的な審議対象

STEP 2

具体的な審議内容

ボランティアをしたい人や関心のある人がボランティア活動への一歩を踏み出せるように、受け取りやすい情報発信の仕方やルートなど、気軽に参加できる仕組みを検討する。

提言に向けての進め方の例

- アンケート調査
- ▽ 区特有の現況等を把握
- ▽ 現況把握を通じて、具体的な課題解決方法を検討
- ▽ 課題解決方法を検証

提言取りまとめ

提言（報告書作成）

意見の整理	出された主な意見
多くの人にボランティアについて知ってほしいことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとは、「人のため」が「自分のため」につながることを知ってほしい。 ・あなたがいて私がいる。相手の心に寄り添うことが大切。 ・ボランティアの基本的なことを知ってもらいたい。 ・ボランティアに親しんでもらうため、子どもの頃から地域に関わる機会が必要。
参加のハードルが低いボランティア活動から、長くボランティア活動を続ける人を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・単発なボランティア活動でも、長く続けてもらうきっかけになるのではないかと。 ・体験ボランティアや講座をつくり、長期のボランティア活動への参加を促してみてもどうか。 ・単発、体験ボランティア、講座以外にも長期的なボランティアへの参加を促す方法はあるのではないかと。
ボランティアをやりたい人や関心のある人を、どのように外へ出すのかを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をしたいと思っているシニア世代は沢山いる。 ・団体自体の信頼性が重要。行政等が募集している公共性の高いボランティア活動は参加しやすく、参加者が多い。 ・交通費程度の実費が出た方が参加しやすくなる。
ボランティアをやりたい人や関心のある人に情報を届ける必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをしたい人に情報が届くよう、自分たちで発信の仕方やルートを考える必要がある。